



2005年11月27日

日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行
お問合せは上記へ

この10月からの介護保険の見直しについては9月議会でも取り上げましたが、その後、日本共産党市議団は市内の介護施設を訪ね、実情をうかがいました。

介護施設を訪ねて

日本共産党
北茨城市議団

負担増の影響をうかがう

市内に2つある老人保健施設では合同で、負担増につながる見直しにさいし、行政の担当職員も呼んで利用者説明会を開きました。「おおむね利用者には理解をいただき、補足給付の申請も行政の働きかけで今のところ混乱もない。ただ



秋祭り

磯原町木皿の王子神社祭礼(11月23日)

臨時議会

11月27日、職員給与の条例改正を議案として、臨時議会が開かれます。

し今後、長期的には施設入所が困難になり、あるいは退所する人も考えられ、本来に必要な介護ができるか、心配な面もある」「施設としても痛みをとまう

が、利用者の負担が上がるなかで、サービスや食事の質を落とさず、経費節減できりぬけていきたい」としています。

介護報酬や給付の変更により、115床の特養ホームで今年度一千万円、来年は二千万円の減収と試算されます。「当面は、これまでの運営資金でカバーしたり、経費節減をはかっているが、人件費にも影響がでるかもしれない」と、その運営のむずかしさをあげていました。

今回の見直しによる負担増は、利用者・家族への影響だけでなく、施設運営に

も困難をもたらし、それが、施設で働く人へのしわ寄せにならないか、懸念されるということです。

市議団としては「改めて、介護保険への国からの負担割合をあげ、増額していくことが必要。現状を県や国へ伝えていき、改善のために努力していきたい」と、懇談を終えました。

いずれの施設も、職員さんの対応はいいねいで穏やかでした。地域のボランティアグループによる慰問なども積極的に受け入れており、掲示などいろいろな工夫されています。

また、地域に開放されている部屋もあります。「国や県からの補助も受けているので、積極的に開放し地域の皆さんに使っていただきたい」とのことでした。

なお「市立病院の体制がいつたいこれからどうなるのか、じつはこの冬いちばんの心配事です」と、ここでも市立病院の問題が影を落としていました。

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎42-2462



市議会議員
福田 明
☎43-0468

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>
編集部では身近な情報をお待ちしています。

市内小中学校音楽発表会

11月11日、市内の小・中学校17校の代表が集まり、午前は、今年は大津町の常北中学校が会場でした。



合唱あり、合奏あり、中学生のバンド演奏あり。どの学校・クラス・部活の子どもたちも、練習の成果を晴れやかに元気いっぱい聴かせてくれました。せっかくの素晴らしい演奏。もっと地域の方にも聞いていただけるようしたいものです。